

# グローバルドライブ（3ヵ月決算型） 限定為替ヘッジ

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。実質外貨建資産については、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年2月19日～2019年8月19日

第21期	決算日：2019年5月20日	
第22期	決算日：2019年8月19日	
第22期末 (2019年8月19日)	基準価額	9,412円
	純資産総額	422百万円
第21期～ 第22期	騰落率	0.6%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

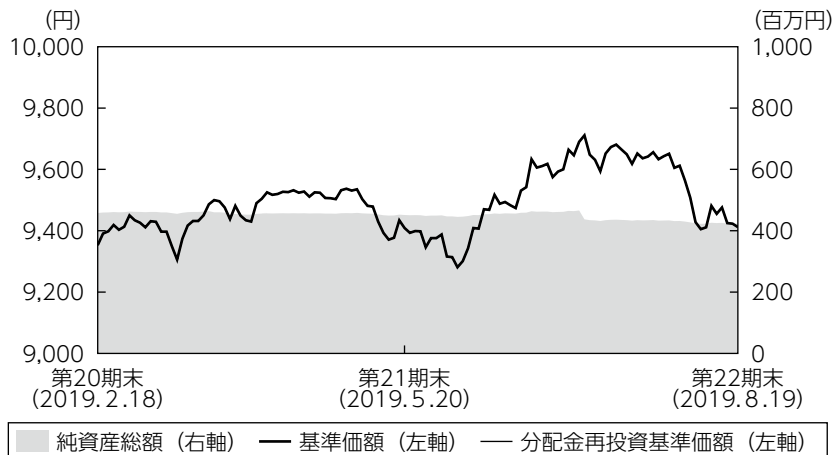
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第21期首： 9,353円  
 第22期末： 9,412円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率： 0.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

グローバルドライブ・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主として「ブラックロック・グローバル・ファンズーグローバル・アロケーション・ファンドークラスX」（以下、「アロケーション・ファンド」といいます。）米ドル建投資証券に実質的な投資を行います。また、補助的な位置付けとして、短期米ドル建債券などを主要投資対象とする上場投資信託証券（以下、「短期米ドル債ETF」といいます。）にも、マザーファンドを通じて実質的な投資を行います。また、実質外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて米ドル売り／円買いの為替取引を行います。

第21期首9,353円でスタートした基準価額は軟調に推移し、2019年6月3日に当作成期中安値9,281円を付けました。その後上昇に転じ2019年7月5日に当作成期中高値9,711円を付け、9,412円で第22期末を迎えました。

当作成期間においてはアロケーション・ファンドの価格が3.3%上昇する一方で、米ドル／円相場が3.7%米ドル安円高となったことなどを要因にマザーファンドは0.6%下落しました。他方、当ファンドでは米ドル売り／円買いの為替取引を行っており、そこで発生する差損益などがプラスに作用し、基準価額は0.6%上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第21期～第22期		項目の概要
	(2019年2月19日～2019年8月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	96円	1.012%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,483円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(59)	(0.619)	
(販売会社)	(36)	(0.377)	
(受託会社)	( 2)	(0.016)	
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(保管費用)	( 0)	(0.001)	
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
(その他)	( 0)	(0.003)	
合計	96	1.017	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

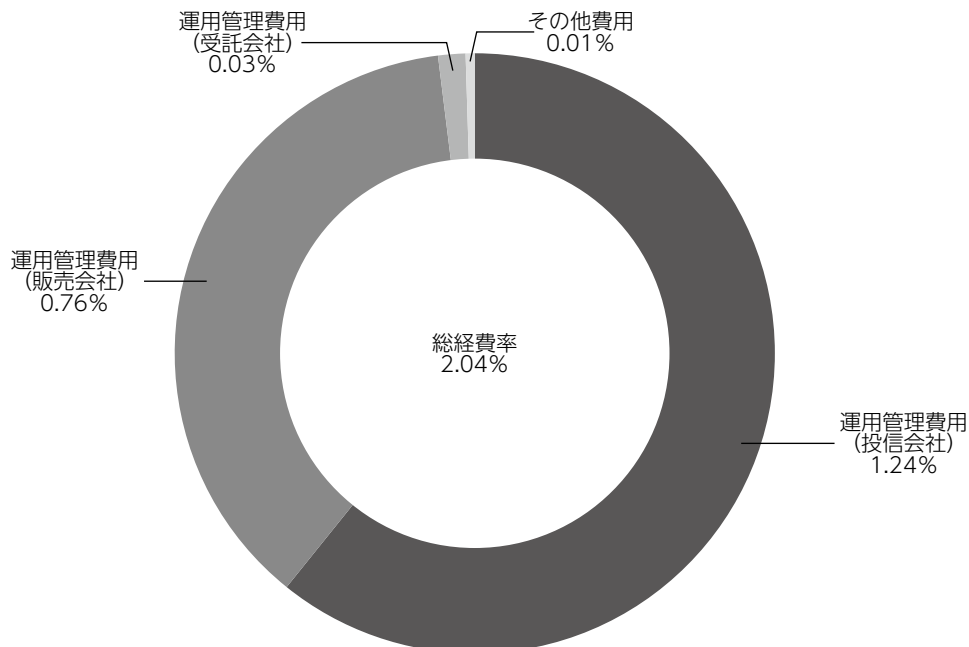
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**(参考情報)**

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

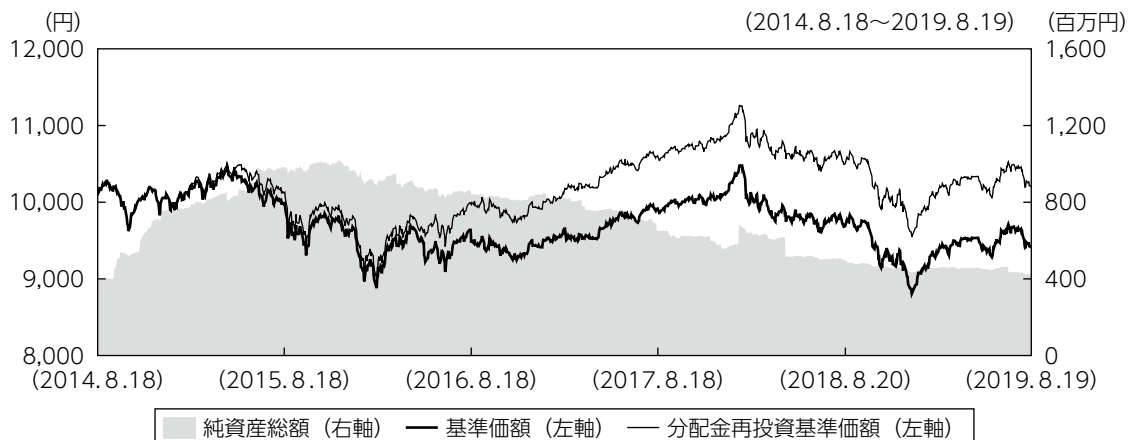
(注4) 委託会社の信託報酬には、グローバルドライブ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドークラスX」（以下「アロケーション・ファンド」といいます。）への投資の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社（ブラックロック・ジャパン株式会社）に対する報酬（当ファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの純資産総額に対して年率0.75%（税抜））が含まれます。

マザーファンドを通じて実質的に投資するアロケーション・ファンドでは直接の投資運用会社報酬などはありません。（ただし、当ファンドの委託会社であるアセットマネジメントOne株式会社が受ける報酬から、マザーファンドの投資顧問会社であるブラックロック・ジャパン株式会社に投資顧問報酬が支払われます。そして、その投資顧問報酬から、アロケーション・ファンドの投資運用会社などへの報酬が支払われます。）アロケーション・ファンドの上記報酬制度は変更される場合があります。

(注5) 総経費率の他に、マザーファンドを通じて実質的に投資するアロケーション・ファンドでは年率0.07%の運用管理費用以外の費用が発生しています。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年8月18日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年8月18日 決算日	2015年8月18日 決算日	2016年8月18日 決算日	2017年8月18日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月19日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,090	9,973	9,470	9,914	9,689	9,412
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	150	350	150	135	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	0.3	△1.5	6.3	△0.9	△2.9
純資産総額	(百万円)	390	982	837	652	498	422

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の様々な資産への分散投資と為替取引で得られる収益の獲得による投資信託財産の成長を目指して運用を行うという、当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。よって、ベンチマーク等は設定しておりません。

## 投資環境

### ●米国株式市場

米国株式市場は、底堅い米国景気や事前の市場予想を上回る企業業績などから、堅調に推移しました。5月から6月にかけて、米中貿易摩擦の高まりや中東での地政学的リスクの顕在化などから一時的に下押し局面もありましたが、その後持ち直しS & P 500など主要な株式指数は最高値を更新しました。しかし、7月末開催のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において0.25%の利下げが発表され、一旦材料出尽くしとなったことに加え、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が追加利下げを強く示唆しなかったことから、上昇幅を縮める展開となりました。

こうした状況のもと、第22期末における米国株式市場は、第21期首と比べて上昇しました。

### ●欧州株式市場

欧州株式市場は、ブレグジット（英国の欧州連合離脱）や景気減速懸念といった不透明要因はあったものの、ECB（欧州中央銀行）の金融政策への楽観や底堅い米国景気などの影響を受け、上昇しました。5月には米中関係が懸念材料となったことに加え、ブレグジットの行き詰まりにより英メイ首相が辞任を発表するなど、混迷状態の高まりから一時的に下落する局面もありました。6月以降、ユーロ圏経済指標上振れ、ドラギECB総裁による追加緩和策を講じる可能性についての発言などを好感し、再び上昇基調となりました。しかし、8月に入り米国株式市場の影響を受け、上昇幅を縮める展開となりました。

こうした状況のもと、第22期末における欧州株式市場は、第21期首と比べて上昇しました。

### ●国内株式市場

国内株式市場は、作成期初、米国株高や為替の円安基調といったプラスの影響を受け底堅く推移しました。5月には米中関係悪化による世界経済や企業業績の減速懸念、消費税増税実施の不透明感などから下落に転じたものの、6月以降は金融緩和観測を背景に欧米株式市場が上昇したことなどから、底堅さを取り戻しました。しかし、8月以降、米国株式市場の影響を受けたのに加え、為替が円高方向に振れたことから軟調となりました。

こうした状況のもと、第22期末における国内株式市場は、第21期首と比べて下落しました。

### ●米国債券市場

米国債券市場では、3月に開催されたFOMCにおいて年内利上げを見送る方針などが示されると、長期金利に低下圧力がかかりました。加えて、5月以降、米国景気の鈍化懸念、米中貿易摩擦長期化への不安、FRBの利下げ観測などから、長期金利の低下がさらに加速しました。7月末に0.25%の利下げが発表された後、景気減速懸念の高まりなどから、長期金利の低下に拍車がかかりました。

こうした状況のもと、第21期首に2.6%台半ばでスタートした米国10年国債利回りは第22期末に1.5%台半ばとなりました。

## ● 欧州債券市場

欧州債券市場では、3月にECBが政策金利を少なくとも年末まで現行水準で据え置くことや、新たな資金供給策を行うことを決定したため、長期金利は低下基調となりました。5月以降はユーロ圏経済指標の予想比下振れ、イタリア財政への懸念、ブレグジットを巡る先行き不透明感などから、さらに低下幅を広げました。

こうした状況のもと、ドイツ10年国債利回りは0.1%台から△0.6%台に、フランス10年国債利回りは0.5%台から△0.4%台に低下（価格は上昇）しました。

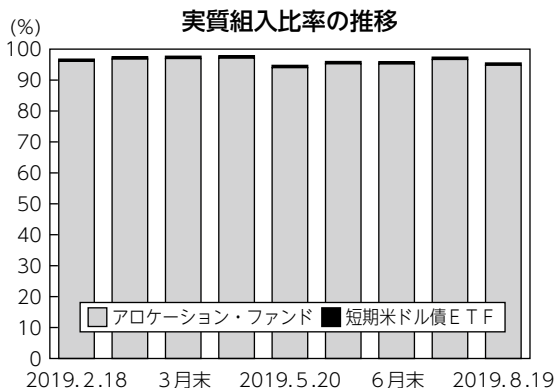
## ● 外国為替市場

米ドル円は、作成期初、米政府機関の再閉鎖回避や米中貿易協議の進展期待などによるリスク選好の動きなどから米ドル高円安となりました。しかし5月以降、米中貿易の停滞の長期化懸念、利下げ期待の強まりなどから一転、米ドル安円高となりました。ユーロ円について、ゴールデンウィーク前まではもみあいでの推移でしたが、その後、ECBによる追加金融緩和策の可能性、イタリアの財政を巡る懸念、ブレグジットを巡る先行き不透明感などからユーロ安円高となりました。第21期首1米ドル=110円半ばでスタートした米ドル/円相場は、1米ドル=106円半ばで、1ユーロ=124円後半でスタートしたユーロ/円は118円前半で第22期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

マザーファンドへの投資を通じてアロケーション・ファンドの実質組入比率を高位に維持しました。マザーファンドを通じた短期米ドル債ETFの投資も継続しました。また、米ドル売り/円買いの為替取引を行い、米ドル/円相場の変動による影響の軽減を図りました。



※比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合。

●グローバルドライブ・マザーファンド

主としてアロケーション・ファンドに投資を行いました。また、補助的な位置付けとして、短期米ドル債ETFにも投資を行いました。なお、外貨建資産について、マザーファンドでは為替ヘッジを行いません。

作成期中を通じてアロケーション・ファンドの組入比率を高位に維持しました。

【アロケーション・ファンドの運用状況】

(2019年1月末～2019年7月末)

世界各国のさまざまな資産（株式、債券など）、国・地域、セクターなどから、投資魅力度が高いと判断される資産に分散投資を行いました。また、中長期的なトータルリターンの最大化を目指すため、投資環境に応じて株式や債券などの組入比率を機動的に変更しました。

2019年1月末と2019年7月末とのポートフォリオ比較では、北米および欧州地域の株式組入比率を引き上げ、日本は引き下げています。株式全体の組入比率は57.3%から60.0%程度に引き上げ、セクター別ではコミュニケーション、エネルギー、ヘルスケアを積極的に組入れる一方で、情報技術、金融の組入れには消極的です。

債券については、全体の組入比率を29.3%から32.5%程度に増加させています。米国国債が引き続き魅力的な利回りを提供していると評価し、北米地域の組入比率を引き上げたのに加え、欧州地域にも米国債と同様な分散投資効果を期待できると考え、組入比率を引き上げています。

コモディティでは、金（ゴールド）がポートフォリオに弾力性を加えるという考えは引き続き維持しているものの、米国債投資の方がポートフォリオの分散化機能をより高められると考え、組入比率を引き下げました。商品関連ポジションは2.8%から0.8%程度へ引き下げています。



## ベンチマークとの差異について

マザーファンドへの投資を通じて、世界各国のさまざまな資産への分散投資と為替取引で得られる収益の獲得による投資信託財産の成長を目指して運用を行うという、当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。したがって、ベンチマークは設定していないため、グラフは掲載しておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第21期	第22期
	2019年2月19日 ~2019年5月20日	2019年5月21日 ~2019年8月19日
当期分配金（税引前）	-円	-円
対基準価額比率	-%	-%
当期の収益	-円	-円
当期の収益以外	-円	-円
翌期繰越分配対象額	271円	271円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続きマザーファンドを通じたアロケーション・ファンドの実質組入比率を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。

また、ヘッジ比率を高位に維持し、米ドル建て資産に対する為替変動リスクを軽減するよう調整します。

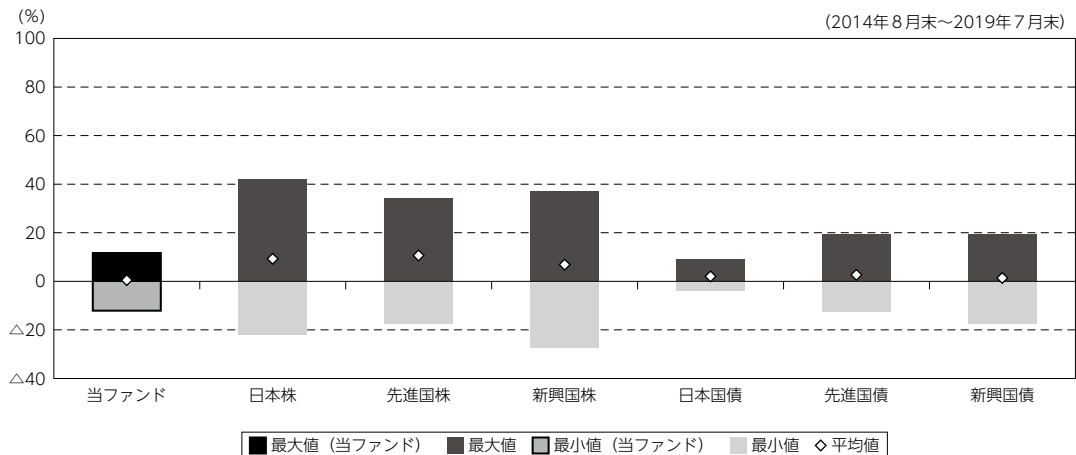
### ●グローバルドライブ・マザーファンド

引き続き、アロケーション・ファンドの組入比率を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年2月24日から2024年2月19日まで。	
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバルドライブ （3ヵ月決算型） 限定為替ヘッジ	グローバルドライブ・マザーファンド受益証券。
	グローバルドライブ・ マザーファンド	投資信託証券。
運用方法	<p>グローバルドライブ・マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラックロック・グローバル・ファンズーグローバル・アロケーション・ファンドークラスX（以下「アロケーション・ファンド」といいます。）米ドル建投資証券に実質的な投資を行い、世界各国の様々な資産への分散投資と為替取引で得られる収益の獲得を目指します。加えて、短期米ドル建債券等を主要投資対象とする上場投資信託証券にも、実質的な投資を行います。アロケーション・ファンドの実質組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。実質外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて米ドル売り／円買いの為替取引を行います。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△12.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	0.5	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2015年2月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年8月19日現在）

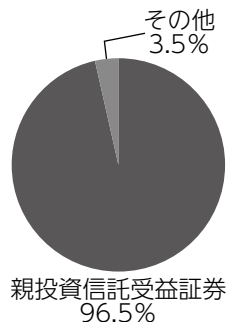
#### ◆組入ファンド等

	第22期末
	2019年8月19日
グローバルドライブ・マザーファンド	96.5%
組入銘柄数	1銘柄

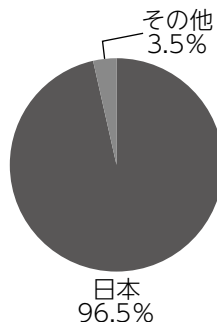
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

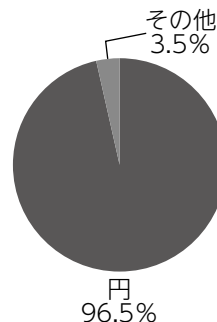
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(注5) 実質外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて米ドル売り/円買いの為替取引を行っています。

### 純資産等

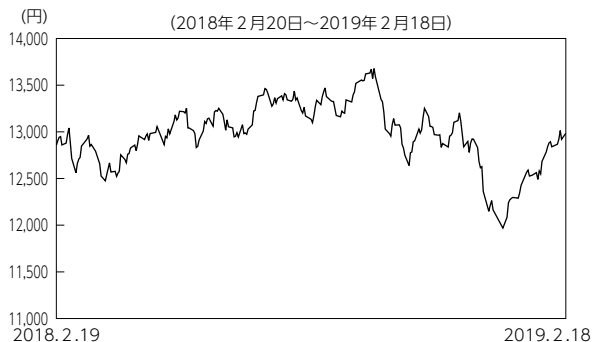
項目	第21期末	第22期末
	2019年5月20日	2019年8月19日
純資産総額	451,251,753円	422,933,665円
受益権総口数	479,610,501口	449,352,457口
1万口当たり基準価額	9,409円	9,412円

(注) 当作成期間（第21期～第22期）における追加設定元本額は3,091,038円、同解約元本額は43,079,542円です。

## 組入ファンドの概要

### [グローバルドライブ・マザーファンド]

#### ◆基準価額の推移



#### ◆1万口当たりの費用明細

(2018年2月20日～2019年2月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0円 (0) (0)	0.001% (0.001) (0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、12,943円です。

(注1) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注2) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

#### ◆組入上位10銘柄

(2019年2月18日現在)

	銘柄名	業種/種類別	通貨	国(地域)	比率
1	ISHARES SHORT TREASURY BOND ETF	投資信託証券	米ドル	アメリカ	0.7%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

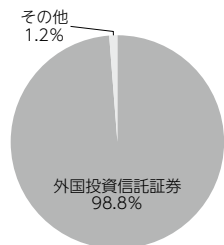
#### ◆組入上位ファンド

銘柄名	当期
ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド・クラスX米ドル建投資証券	98.1%
組入銘柄数	1銘柄

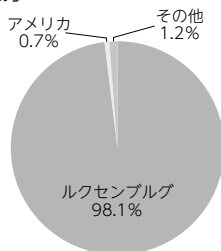
(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

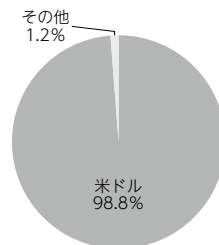
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

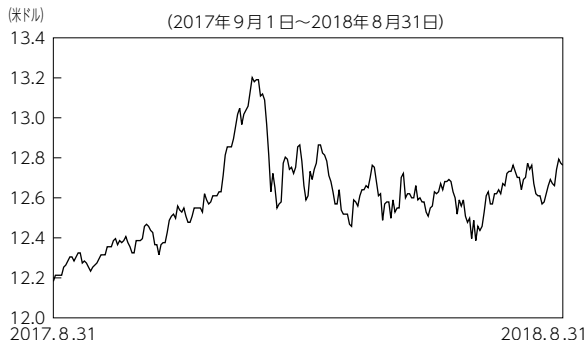
(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

— <ご参考> ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドークラスX米ドル建投資証券 —

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

(2017年9月1日~2018年8月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆組入上位10銘柄

(2018年8月31日現在)

	銘柄名	業種/種別等	国(地域)	通貨	比率
					%
1	TREASURY NOTE (OLD) 2.75 07/31/2023	国債	アメリカ	米ドル	5.1
2	TREASURY NOTE (2OLD) 2.625 06/30/2023	国債	アメリカ	米ドル	4.3
3	TREASURY NOTE (OLD) 2.875 07/31/2025	国債	アメリカ	米ドル	3.1
4	TREASURY NOTE 2.875 05/31/2025	国債	アメリカ	米ドル	2.0
5	TREASURY NOTE (2OLD) 2.5 06/30/2020	国債	アメリカ	米ドル	2.0
6	APPLE INC	情報技術	アメリカ	米ドル	1.9
7	TREASURY NOTE 2.75 04/30/2023	国債	アメリカ	米ドル	1.7
8	ALPHABET INC CLASS C	情報技術	アメリカ	米ドル	1.6
9	MICROSOFT CORP	情報技術	アメリカ	米ドル	1.6
10	TREASURY NOTE (OTR) 2.875 08/15/2028	国債	アメリカ	米ドル	1.3
組入銘柄数			740銘柄		

(注1) 比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドの純資産総額に対する割合です。

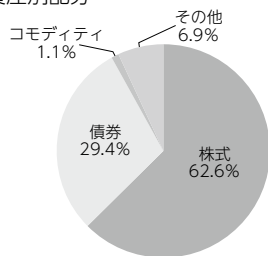
(注2) 「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドークラスX」は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド」の個別クラスとなっております。

(注3) 組入有価証券に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

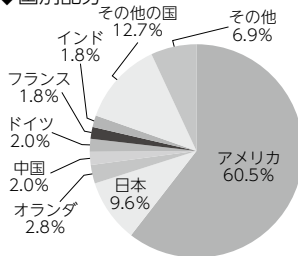
(注4) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注5) 上記の表は、ブラックロックのデータをもとに記載してあります。

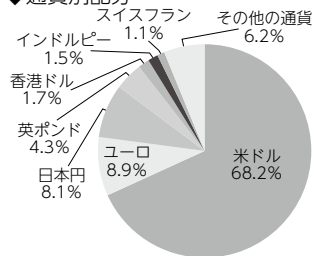
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注2) 「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンドークラスX」は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド」の個別クラスとなっております。  
 (注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。  
 (注4) その他は、純資産総額から有価証券を差し引いた数字です。  
 (注5) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。  
 (注6) 上記のグラフは、ブラックロックのデータをもとに記載してあります。



## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

